

平成27年度

事業報告書

平成27年 4月 1日から

平成28年 3月31日まで

平成27年度 事業総括

平成27年度の本会事業は、一部に事業量の変化などはあったものの、地域自衛防疫組合や関係機関の皆様のご理解とご協力により円滑に実施することができました。

主な事業についてみますと、本会事業の要である発生予防事業(予防注射事業)ですが、牛伝染性鼻気管炎をはじめとする牛の予防注射頭数は 669,871 頭、計画比 98.1%、豚の予防注射頭数は 116,955 頭、計画比 99.8%、鶏の予防注射羽数は 129,000 羽、計画比 90.2%、馬の予防注射頭数は 59,536 頭、計画比 100.7%となっており、家畜の飼養頭数が減少する中、概ね計画どおりの実績を確保することができました。

国の補助事業関係ですが、家畜生産農場清浄化支援対策事業で実施するヨーネ病の自主検査頭数は 24,688 頭で、前年度比 96.8%と減少したほか、死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業で実施する BSE 検査頭数は 36,915 頭で、検査対象月齢が 24 ヶ月齢から 48 ヶ月齢に引き上げられたことにより、前年度比 72.2%と減少しました。

口蹄疫、豚コレラ等海外悪性伝染病の万が一の発生に備える家畜防疫互助事業につきましては、平成 27 年度から新たな事業期間となるため、加入者の契約更新及び未加入者への事業加入を推進しました。

平成 28 年 3 月末現在の加入状況は、牛飼養農場が 3,945 戸、豚飼養農場が 70 戸となっております。

その他、公益社団法人中央畜産会の委託事業関係につきましても、地域の自衛防疫組合や関係機関の皆様のご協力のもとに円滑に実施されましたことをご報告いたします。

第 1 一 般 会 務

1. 会 員

(1) 正 会 員 27団体

ア. 寄託会員 19団体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合連合会。一般社団法人ジェネテイクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

イ. 会費会員 8団体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

(2) 賛助会員 9団体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

2. 役員の変動

第43回通常総会で役員の変任に伴う補欠選任が行われ、次のとおり選任された。

| 役職名 | 氏名 | 所属団体 | 備考 |
|-----|------|-----------------|----|
| 理事 | 柿林孝志 | 上川地区家畜自衛防疫連絡協議会 | 就任 |

3. 通常総会の開催

第43回通常総会を平成27年5月29日、札幌市西区二十四軒4条5丁目 北海道獣医師会館で開催、議案及び決議事項は次のとおり。

- (1) 平成26年度事業及び決算の承認について
- (2) 平成27年度事業計画、収支予算の報告について
- (3) 平成27年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (4) 平成27年度役員報酬の承認について
- (5) 平成27年度借入金の最高限度額の承認について
- (6) 役員の変任について

4. 理事会の開催

第1回理事会 平成27年5月12日 北海道獣医師会館

- (1) 第43回通常総会等の開催について
- (2) 第43回通常総会提案事項の承認について
- (3) 職務執行状況の報告について

第2回理事会 平成27年5月29日 北海道獣医師会館

- (1) 平成27年度役員報酬の執行案の承認について
- (2) 平成26年度事業報告書提出の承認について

第3回理事会 平成27年12月9日 北海道獣医師会館

- (1) 平成27年度上半期財務状況の報告について
- (2) 平成27年度各事業の進捗状況の報告について
- (3) 職務執行状況の報告について

第4回理事会 平成28年3月11日 北海道獣医師会館

- (1) 平成28年度事業計画の承認について
- (2) 平成28年度発生予防事業対価案の承認について
- (3) 平成28年度収支予算案の承認について
- (4) 第44回通常総会等の開催案の承認について

6. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

| 寄 託 会 員 名 | 口 数 | 寄 託 額 |
|--------------------|-------|-----------|
| 北 海 道 | 125 口 | 25,000 千円 |
| ホクレン農業協同組合連合会 | 150 | 30,000 |
| 北海道農業共済組合連合会 | 25 | 5,000 |
| 一般社団法人ジェネティクス北海道 | 10 | 2,000 |
| 十勝管内家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 上川地区家畜自衛防疫連絡協議会 | 1 | 200 |
| 空知地区家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 石狩地区家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会 | 1 | 200 |
| 日高家畜衛生防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 後志家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 胆振家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| オホーツク家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 公益社団法人北海道獣医師会 | 10 | 2,000 |
| 檜山地区家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会 | 1 | 200 |
| 計 (19団体) | 334 | 66,800 |

7. 会 費

金 570,000 円

| 会 費 会 員 | 会 費 額 | 賛 助 会 員 | 会 費 額 |
|------------------|----------|------------------|-----------|
| 北海道農業協同組合中央会 | 千円 50 | 北海道信用農業協同組合連合会 | 千円 100 |
| 一般社団法人北海道酪農畜産協会 | 60 | 雪印メグミルク株式会社 | 30 |
| 北海道ホルスタイン農業協同組合 | 50 | 日高軽種馬農業協同組合 | 50 |
| 北海道町村会 | 20 | 株式会社 明治 | 30 |
| 北海道乳質改善協議会 | 20 | よつ葉乳業株式会社 | 30 |
| 一般社団法人北海道酪農協会 | 10 | 北海道動物器薬協会 | 30 |
| 北海道養鶏会議 | 10 | 北海道乳業株式会社 | 20 |
| 一般社団法人ばんえい競馬馬主協会 | 20 | 胆振軽種馬農業協同組合 | 20 |
| | | 一般社団法人北海道養豚生産者協会 | 20 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 計 (8団体) | 240 | 計 (9団体) | 330 |

第 2 事業実施成績

1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

(1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場清浄化支援対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道衛指協事業:公益目的事業)

ア. 牛伝染性鼻気管炎(IBR)

イ. 牛4種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛5種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

オ. 牛6種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

カ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

キ. 牛嫌気性菌3種、牛伝染性鼻気管炎同時

ク. 牛嫌気性菌3種、牛4種混合同時

ケ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合(生)同時

コ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合(不)同時

サ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合(生)同時

シ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合同時

ス. 牛嫌気性菌3種

セ. 牛下痢5種混合(不)

ソ. ニューカッスル病(生)

タ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

チ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

ツ. 日本脳炎(馬)

テ. 馬インフルエンザ

ト. 破傷風(馬)

ナ. 馬鼻肺炎

ニ. 豚丹毒

ヌ. 豚流行性下痢(PED)

ネ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ(競走馬)

(4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬インフルエンザ(農用馬、乗用馬等)

イ. 馬鼻肺炎(軽種の繁殖牝馬)

平成27年度 発生予防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

| 疾 病 名 | 計 画 (A) | 実 績 (B) | 計 画 比 B/A |
|--------------------------------|-----------|---------|--------------|
| 豚 丹 毒 | 117,200 | 116,955 | 99.8 |
| 豚伝染性胃腸炎(TGE)・ 豚流行性下痢(PED)混合 | 1,000 | 0 | 0.0 |
| ニューカッスル病 | 143,000 | 129,000 | 90.2 |
| 牛伝染性鼻気管炎 | 565,500 | 548,203 | 96.9 |
| 牛嫌気性菌3種 | 88,900 | 89,312 | 100.5 |
| アカバネ病 | 6,400 | 6,014 | 94.0 |
| 牛下痢5種混合 | 22,000 | 26,342 | 119.7 |
| 馬3種混合 | 24,300 | 25,865 | 106.4 |
| 日本脳炎(馬) | 4,500 | 4,330 | 96.2 |
| 馬インフルエンザ | 12,300 | 11,588 | 94.2 |
| 馬鼻肺炎 | 18,000 | 17,753 | 98.6 |
| 馬破傷風 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 1,003,100 | 975,362 | 97.2 |

*地区別内訳は、別紙1のとおり

2. 平成27年度 検査推進事業（農林水産省補助事業：公益目的事業）

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

(ア) ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を24,688頭について、関係機関の協力により実施。

・血清反応検査

乳用牛 4,316頭 肉用牛 20,326頭 合計 24,642頭

・培養検査

乳用牛 0頭 肉用牛 46頭 合計 46頭

内訳は表①のとおり

(イ) ヨーネ病自主とう汰

ヨーネ病患者の同居牛等を対象に自主とう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 173頭 肉用牛 37頭 合計 210頭

内訳は表①のとおり

(ウ) 牛白血病対策

牛白血病発生農場や公共牧場の検査及び吸血昆虫駆除対策を関係機関の協力により実施。

発生農場の検査 13農場 432頭 公共牧場の検査 1牧場 151頭

公共牧場の吸血昆虫対策 7牧場

(エ) オーエスキー病清浄化対策

オーエスキー病清浄種豚流通促進事業抗体検査成績

| 支部 | 区分 | 指定種豚場 | | 検査頭数 | 成績 | | 証明書発行 | 備考 |
|----|----|-------|-----|------|----|----|-------|----|
| | | 市町村数 | 農場数 | | 陽性 | 陰性 | | |
| 石狩 | | 1 | 1 | 5 | 0 | 5 | 5 | |
| 上川 | | 1 | 1 | 20 | 0 | 20 | 20 | |
| 網走 | | 1 | 3 | 30 | 0 | 30 | 30 | |
| 合計 | | 3 | 5 | 55 | 0 | 55 | 55 | |

イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 141農場(乳用牛：139農場、肉用牛：2農場)

(表①)

ヨ－ネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数(平成27年度)

| 事業 支部 | 自主検査頭数 | | | | | | | | | | 自主とう汰頭数 | | | | 備考 |
|----------|--------|-------|-------|--------|------|----|-----|----|-------|--------|---------|-----------|-----------|----------|----|
| | 血清 | | | | 細菌培養 | | | | 合計 | | 戸数 | 乳用牛 頭数 | 肉用牛 頭数 | 頭数 合計 | |
| | 乳用牛 | | 肉用牛 | | 乳用牛 | | 肉用牛 | | 戸数 | 頭数 | | | | | |
| | 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 | | | | | | | |
| 石 狩 | 1 | 1 | 164 | 406 | 0 | 0 | 0 | 0 | 165 | 407 | 1 | 3 | 0 | 3 | |
| 道南(渡島) | 2 | 180 | 329 | 734 | 0 | 0 | 0 | 0 | 331 | 914 | 2 | 1 | 1 | 2 | |
| 道南(桧山) | 0 | 0 | 355 | 660 | 0 | 0 | 0 | 0 | 355 | 660 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 後 志 | 0 | 0 | 107 | 277 | 0 | 0 | 0 | 0 | 107 | 277 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 空 知 | 35 | 180 | 286 | 743 | 0 | 0 | 0 | 0 | 321 | 923 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 上 川 | 55 | 403 | 348 | 805 | 0 | 0 | 0 | 0 | 403 | 1,208 | 4 | 18 | 0 | 18 | |
| 留 萌 | 8 | 28 | 87 | 169 | 0 | 0 | 0 | 0 | 95 | 197 | 1 | 0 | 2 | 2 | |
| 宗 谷 | 140 | 1,060 | 154 | 347 | 0 | 0 | 0 | 0 | 294 | 1,407 | 3 | 4 | 0 | 4 | |
| 網 走 | 43 | 170 | 979 | 2,341 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,022 | 2,511 | 1 | 1 | 0 | 1 | |
| 胆 振 | 0 | 0 | 912 | 2,331 | 0 | 0 | 4 | 46 | 916 | 2,377 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 日 高 | 19 | 193 | 1,132 | 2,535 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,151 | 2,728 | 2 | 0 | 16 | 16 | |
| 十 勝 | 26 | 238 | 2,066 | 6,746 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,092 | 6,984 | 19 | 40 | 10 | 50 | |
| 釧 路 | 111 | 245 | 324 | 1,687 | 0 | 0 | 0 | 0 | 435 | 1,932 | 15 | 50 | 2 | 52 | |
| 根 室 | 297 | 1,618 | 266 | 545 | 0 | 0 | 0 | 0 | 563 | 2,163 | 15 | 56 | 6 | 62 | |
| 合 計 | 737 | 4,316 | 7,509 | 20,326 | 0 | 0 | 4 | 46 | 8,250 | 24,688 | 63 | 173 | 37 | 210 | |

註 1 自主検査及び自主とう汰の戸数は延べ戸数である。

ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

アカバネ病ワクチン接種への助成 6,014 頭

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

ア. 事業実施頭数

| 事業対象死亡牛頭数 | 左のうち | | 備考 |
|-----------|---------|--------|------|
| | BSE検査頭数 | 検査除外頭数 | |
| 37,202頭 | 36,915頭 | 287頭 | 全頭陰性 |

イ. 死亡牛適正処理推進協議会の開催

| 開催時期 | 開催場所 | 協議内容 | 参加人員 | 備考 |
|-----------|------|--|------|----|
| 平成27年8月5日 | 札幌市 | 1. 情勢報告 2. 平成26年度事業実績 3. 平成27年度事業計画・進捗状況 | 16名 | |

3. 平成27年度 中央畜産会等委託事業（収益事業等）

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

ア. 馬飼養管理技術地方講習会、馬臨床に係る現地検討会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会、検討会を開催。

| 開催時期 | 開催場所 | 講師 | 講習内容 | 参加人員 |
|-------------|-------|-------------------------|--------------------------------|------|
| 平成27年10月9日 | 新ひだか町 | JRA総合研究所栃木支所 丹羽秀和氏ほか | これだけは知っておきたい 馬の細菌感染症 | 99名 |
| 平成27年10月30日 | 苫小牧市 | 社台ホースクリニック 田上正明氏ほか | 若齢サラブレットの発育期 整形外科疾患(DOD)と栄養 | 124名 |

イ. 地域馬獣医療実態調査

| 調査時期 | 調査地域 | 調査対象 | 調査課題 |
|-------------|------------------------|------------------------|--------------------------|
| 平成27年10～11月 | 石狩、渡島、檜山、後志、空知、胆振、日高管内 | 馬飼養農家 590戸 (軽種馬を除く) | 衛生管理区域設定の認識などに関するアンケート調査 |

(2) 育成馬等予防接種推進事業

競走馬の馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)、日本脳炎、馬インフルエンザ予防接種に助成。

馬3種混合 23,527頭 日本脳炎 2,768頭 馬インフルエンザ 10,081頭

(3) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業

ア. 馬鼻肺炎予防接種

軽種馬の繁殖牝馬の馬鼻肺炎ワクチン接種に助成。 16,728 頭

イ. 馬インフルエンザ予防接種(農用馬、乗用馬等)

馬インフルエンザの清浄化の確認と維持を図るため、乗用馬・農用馬等の予防接種に助成。

| 区分 | 用途別 | 助成頭数 | | | 合計 |
|----|----------------|------|-----|--------|-----|
| | | 農用馬 | 乗用馬 | その他関連馬 | |
| | 馬インフルエンザワクチン接種 | 72 | 298 | 129 | 499 |

ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、平成27年11月と平成28年2月に開催。

エ. 在来馬の飼養状況、衛生状況調査

馬伝染性貧血の清浄性確保のため、在来馬も含めた飼養状況、衛生状況の実態調査を実施。(10地区)

(4) 組織強化対策事業

ア. 衛生体制強化基金事業

自衛防疫活動の充実、強化を図るための情報収集と情報交換を実施。

イ. 農場HACCP認証普及推進支援対策事業

農場HACCP認証を普及するため、普及推進協議会の開催、農場HACCP構築の指導や地域の啓発活動などに関する検討を実施。

| 項目 | 内容 |
|--------------|--|
| 普及推進協議会の開催 | 平成27年11月4日 帯広市とかちプラザで開催（176名参加） |
| 農場HACCP構築の指導 | せたな町(酪農)、清水町(酪農)、浦幌町(公共牧場)の3農場で実施 |
| 地域啓発活動の検討 | 平成27年11月、平成28年1月に農場HACCP審査員を招集し、検討会を開催 |

ウ. 自衛防疫体制強化推進事業

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階の防疫演習の実施、牛白血病や牛マイコプラズマ性乳房炎清浄化支援、農場啓発資料の作成、配布。

| 項目 | 内容 |
|-------------------|--|
| 地域自衛防疫推進会議 | 平成27年8月及び平成28年3月に札幌市で開催 |
| 生産段階での防疫演習 | 家畜保健衛生所の協力により、浜頓別町、興部町、札幌市、せたな町、安平町、網走市で開催 |
| 牛白血病清浄化支援 | 八雲町 2農場、別海町 2農場 検査費、採材費、吸血昆虫対策への助成 |
| 牛マイコプラズマ性乳房炎清浄化支援 | 十勝管内搾乳農場(1,267農場)の検査費、採材費への助成 |
| 啓発資料等の作成 | 飼養衛生管理基準(乳用牛)啓発資料の作成と配布(7,000部) |

エ. 豚流行性下痢(PED)まん延防止体制支援強化事業

生産者、流通関係者が一体となった防疫活動によるPEDのまん延を防止するため、推進会議の開催、発生及びまん延防止のための農場指導を実施。

| 項目 | 内容 |
|-----------|-----------------------------|
| 地域対応推進会議 | 平成27年6月22日、10月5日、平成28年3月に開催 |
| まん延防止衛生指導 | 15養豚場で農場指導を実施（指導獣医師4名） |

(5) 家畜防疫互助基金支援事業

平成27年度 家畜防疫互助事業生産者積立金額

(単位 : 戸、頭、円)

| 区分 | 家畜の種類 | 契約戸数 | 契約頭数 | 生産者積立金 | |
|---------|--------------------------------|--------------|---------|-------------|-------------|
| 乳用牛・肉用牛 | 1 乳用牛 | | | | |
| | (1) 乳牛(24か月齢以上) | 2,991 | 249,659 | 58,669,865 | |
| | (2) 乳牛(24か月齢未満) | 3,021 | 167,844 | 15,945,180 | |
| | 2 肉用牛 | | | | |
| | (1) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上) | 926 | 34,898 | 7,852,050 | |
| | (2) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛 | 911 | 56,932 | 6,262,520 | |
| | (3) 肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛 | 200 | 86,486 | 9,081,030 | |
| | (4) 乳用種肥育牛 | 195 | 139,633 | 13,265,135 | |
| | 計 | 3,945 | 735,452 | 111,075,780 | |
| 豚 | 企業型 | (1) 繁殖用種豚(雌) | 25 | 13,962 | 1,745,250 |
| | | (2) 繁殖用種豚(雄) | 25 | 1,243 | 155,375 |
| | | (3) 肥育豚 | 27 | 149,746 | 5,241,110 |
| | | 小計 | 27 | 164,951 | 7,141,735 |
| | 家族型 | (1) 繁殖用種豚(雌) | 42 | 21,296 | 2,555,520 |
| | | (2) 繁殖用種豚(雄) | 42 | 647 | 77,640 |
| | | (3) 肥育豚 | 42 | 180,745 | 5,422,350 |
| | | 小計 | 43 | 202,688 | 8,055,510 |
| | | 計 | 70 | 367,639 | 15,197,245 |
| | 合計 | | 4,015 | 1,103,091 | 126,273,025 |

4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

(1) 広報誌等の発行(自衛防疫強化総合対策事業、家畜衛生対策事業)

| 発行年月 | 発行部数 | 標題 | 執筆者 | 配布先 |
|---------|---------|----------------------------|----------|------------------|
| 平成27年7月 | 250部 | 予防注射事業の事務処理要領 | 道衛指協 | 衛指協支部、各自衛防疫組合 |
| 平成28年3月 | 12,000部 | 牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)リーフレット | 北海道、道衛指協 | 関係機関、団体、家畜保健衛生所等 |

(2) 家畜衛生技術普及講習会(講習会事業)

ア. 家畜衛生技術普及講習会(技術者向け)

| 区分 | 開催時期 | 場所 | 講師 | 講習内容 | 参加者 |
|------|-------------|-------|--|---------------------------------|------|
| 空知支部 | 平成27年5月28日 | 岩見沢市 | 空知家畜保健衛生所 藤木 美佐子 氏 | 牛白血病について | 18名 |
| 本部 | 平成27年6月26日 | 札幌市 | 北海道大学 喜田 宏 氏 | インフルエンザ対策の要 | 89名 |
| 上川支部 | 平成27年7月30日 | 旭川市 | 北海道大学 迫田 義博 氏 | 牛ウイルス性下痢・粘膜病が畜産に及ぼす影響と最新の知見 | 32名 |
| 留萌支部 | 平成27年9月3日 | 幌延町 | 元田村製菓株式会社 関 令二 氏 | 畜産現場におけるよりよい消毒のあり方を考える | 26名 |
| 日高支部 | 平成27年10月6日 | 新ひだか町 | 日高地区NOSAI家畜診療センター 樋口 徹 氏 | 日高地区NOSAI家畜診療センターにおける細菌検査成績について | 99名 |
| 胆振支部 | 平成27年10月30日 | 苫小牧市 | JRA競走馬総合研究所 松井 朗 氏 | 若馬の栄養管理 | 124名 |
| 本部 | 平成27年12月2日 | 札幌市 | ペーリンカーインゲルハイムヘルメティカジャパン株式会社 宮下 マリ 氏 | ローソニア感染症 | 47名 |
| 釧路支部 | 平成28年2月16日 | 釧路市 | 酪農学園大学 高橋 俊彦 氏 | 地域の衛生管理について | 68名 |
| 合計 | 8回 | | | | 503名 |

イ. 家畜衛生技術普及講習会(農家向け)

| 区分 支部 | 牛 | | 豚 | | 鶏 | | 馬 | | 放牧衛生 | | 衛生全般 | | 計 | |
|----------|----|-----|---|-----|---|----|---|----|------|----|------|-----|----|-------|
| | 回 | 人員 | 回 | 人員 | 回 | 人員 | 回 | 人員 | 回 | 人員 | 回 | 人員 | 回 | 人員 |
| 空知 | 4 | 87 | | | | | | | | | | | 4 | 87 |
| 上川 | 2 | 96 | 3 | 160 | | | 1 | 26 | | | | | 6 | 282 |
| 宗谷 | 13 | 276 | | | | | | | | | | | 13 | 276 |
| 網走 | 2 | 48 | | | | | | | | | | | 2 | 48 |
| 胆振 | 5 | 140 | | | 1 | 49 | | | | | 1 | 37 | 7 | 226 |
| 十勝 | 11 | 119 | | | | | | | | | 2 | 76 | 13 | 195 |
| 根室 | 1 | 37 | | | | | | | | | | | 1 | 37 |
| 合計 | 38 | 803 | 3 | 160 | 1 | 49 | 1 | 26 | 0 | 0 | 3 | 113 | 46 | 1,151 |

5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会の事業推進に協力。